

令和5年度「災害時の外国人支援体制整備事業」  
災害多言語支援センター設置・運営訓練及び外国人県民のための防災講座  
開催要領

長野県県民文化部文化政策課  
多文化共生・パスポート室

1 目的

災害時、外国人被災者を迅速かつ的確に支援するため、支援拠点となる「災害多言語支援センター」を設置・運営できるよう関係機関との連携体制を構築する。また、外国人県民が防災弱者となることがないように、防災や災害に対する必要な知識を習得する場を設ける。

2 主催

長野県、中野市、(公財)長野県国際化協会

3 参加団体

長野県、中野市、(公財)長野県国際化協会  
(社福)長野県社会福祉協議会、(社福)中野市社会福祉協議会(ほか1団体調整中)

4 開催日時・場所

令和5年10月22日(日)9:30~12:30  
中野市コミュニティスポーツセンター 1階トレーニングルーム、2階卓球場  
(中野市一本木522)

5 防災訓練の内容

(1) 災害多言語支援センター設置・運営訓練

ア 講師

(特非)多文化共生マネージャー全国協議会 代表理事 土井 佳彦 氏

イ 場所

2階卓球場

ウ 使用言語

日本語、やさしい日本語、多言語化を支援する者においては当該言語

エ 対象

多言語化が可能な外国人県民及び日本人県民(一部はオンライン参加を想定)  
県・市職員、県・市社会福祉協議会職員、国際化協会等団体職員

オ 定員

28名程度(参集21名、オンライン接続7名)

カ 内容

外国人被災者状況確認、避難所巡回ルートの検討、多言語への翻訳作業、避難所巡回 等

(2) 外国人県民のための防災講座

ア 講師

(特非)多文化共生マネージャー全国協議会 事務局 村上 典子 氏

イ 場所

1階トレーニングルーム

ウ 使用言語

やさしい日本語(通訳なし)

- エ 対象  
防災、災害に係る基礎知識の習得を希望する外国人県民（中野市周辺在住）  
外国人への防災、災害に係る意識啓発に携わる日本人県民（同上）
- オ 定員  
20名程度（外国人15名、日本人5名）
- カ 内容  
日本で発生する災害の説明、避難場所の確認 等

## 6 参加者の募集

### (1) 災害多言語支援センター設置・運営訓練

- ア 募集時期  
令和5年8月22日（火）から9月26日（火）まで
- イ 対象  
長野県在住で被災時の外国人支援に関心のある者
- ウ 定員  
一般県民：会場参集5名、オンライン参加3名程度（情報班を想定）  
市町村職員：5名程度（総務班3名、情報班2名を想定）
- エ 方法  
Microsoft Teams  
一般県民：<https://forms.office.com/r/M8dslaih2Z>  
市町村職員：<https://forms.office.com/r/Z88YzfcUEU>

### (2) 外国人県民のための防災講座

- ア 募集時期  
(1)に同じ
- イ 対象  
長野県在住の外国人及び日本人（中野市及びその近隣在住者を優先）
- ウ 定員  
外国人：15名程度  
日本人：5名程度
- エ 方法  
Microsoft Teams  
<https://forms.office.com/r/M8dslaih2Z>